

# 麦の生育と管理

平成31年1月号

大分県北部振興局集落営農・水田第一班

## 生育状況に応じた管理を!!

### ◎12月～2月の寒候期予報（気象庁より）

- ① 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多い見込み → **排水対策の徹底!**
- ② 気温は高くなる見込み → **麦踏み、土入れの回数を増やす!**

### ◎排水対策～雨が降っている時がチャンス～

額縁の四隅や排水口等を繋げ、ほ場の外に水を出しましょう。

この作業は雨の日がオススメです。滞水している場所が一目で確認できます。



・播種前に弾丸暗渠を施工できなかった場合は、1回目の麦踏みの際に施工することも可能。



### ◎麦踏みと土入れ

麦踏みと土入れは、麦作期間中の重要な作業です。

麦踏み土入れは様々な効果があるので、丁寧に・こまめに実施しましょう。

	作業時期	作業回数	注意事項
麦踏み	麦の3葉期 ～ 茎立期	3～4回	作業は土が乾き、ローラーに土が付かない時に実施。
土入れ	麦の4葉期 ～ 茎立期	2～3回	作業は土が乾いたときに実施。 1回目は土を薄くかける。

#### 麦踏みと土入れの効果

麦踏み	土入れ
	
<ul style="list-style-type: none"><li>・分げつ促進</li><li>・茎立ちを遅らせる</li><li>・穂揃い良化</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・倒伏防止</li><li>・雑草・抑制</li><li>・排水改善</li></ul>

- ・麦踏みは、早播きしたときや、暖冬年で生育量が過剰の時は1～2回多く行って下さい。
- ・土入れも、生育過剰の際は回数を増やして下さい。

裏面へ

## ◎肥培管理～分けつ肥で単収増加へ～

分けつ肥と穂肥では、目的が異なるので必ず分けて施肥しましょう。  
 分けつ肥は穂数を確保するために必ず行いましょう。  
 (穂肥は粒数確保のために行います。)

分けつ肥の施肥基準 (窒素成分)

	施肥量	適期
小麦 裸麦 大麦	2 kg/10a	麦の3～4葉期頃

## ◎雑草対策

生育期除草剤は、雑草が大きくなる前に、タイミングを逃さず散布しましょう。雑草が繁茂すると収量や品質の低下を招きます。

特に、**カラスノエンドウ等の種子の混入は個人の等級の低下だけでなく、産地全体の評価低下**につながります。

生育期除草剤

	ハーモニー水和剤	アクチノール乳剤	バサグラン液剤
スズメノテッポウ	5葉期まで 注1)	×	×
カズノコグサ	3葉期まで	×	×
ヤエムグラ	4節期まで	4節期まで	6葉期まで
カラスノエンドウ	×	3葉期まで	6葉期まで
タデ類	生育初期のみ効果あり	生育初期のみ効果あり	生育初期のみ効果あり
使用時期	麦1葉期～節間伸長前	穂ばらみ期まで	小麦収穫45日前まで 大麦収穫90日前まで
使用量	5～10 g /10a	100～200ml/10a	100～200ml/10a
使用回数	1回	2回以内	1回

注1) ハーモニー抵抗性スズメノテッポウには効果なし。

※薬剤ごとに使用時期、使用回数が異なります。ラベル等をよく読み使用しましょう。

## ○除草剤の使用ポイント

### ①毎年同じ薬剤を連続して使用しない!

毎年同じ薬剤を使用すると、薬剤が効かない雑草(抵抗性)が出ます。  
 (ハーモニー水和剤では抵抗性雑草の発生事例があります。)

### ②散布直後の雨と気温の上昇に注意!

散布直後に雨が降ると除草剤が効きにくくなります。  
 また、気温が上昇する(気温20℃以上)と、薬害のリスクが高まります。  
 天気予報や土壌状態を確認してから散布しましょう。